

パイプオルガンに関する意見募集結果（概要版）

1 募集概要

対 象：松江市内外問わず全ての方

実施時期：令和3年9月17日（金）～10月13日（水）

方 法：参考資料「パイプオルガンの取り扱いについて」をご覧ください、「パイプオルガンのオーバーホールを実施して引き続き活用した方が良い」・「パイプオルガンを撤去して新たな活用策を検討した方が良い」の2択から1つ選択していただいた。併せて、選択理由や新たな活用方法についてご記入いただいた。

2 アンケート結果

(1) 回答数

65名

(2) 回答内訳

- ①パイプオルガンのオーバーホールを実施して引き続き活用した方が良い：98%（64名/65名）
- ②パイプオルガンを撤去して新たなホールの活用策を検討した方が良い：2%（1名/65名）

(3) 記入された主な意見

- ①「パイプオルガンのオーバーホールを実施して引き続き活用した方が良い」

➤ 選択理由

- 松江にとってかけがえのない財産だから。
- パイプオルガンがあつてのプラバホールだから。
- 多くの人に音色をきいてほしい。
- 今でも十分活用されていると思う。
- オルガンがあることは本格的なコンサートホールがあることの証。
- オルガンの音楽は、若い演奏家のモチベーション・演奏技術の向上につながると思う。
- 地方の一都市が文化的価値のある特徴を備えていることはとても貴重である。

➤ 新たな活用方法

- 学校単位の見学を行う。全小中学校のカリキュラムに必ず1回は体験を組み込む。
- パイプオルガンを活用したコンサートをもっと企画する。ワンコインで入れるコンサートなど。
- 幼児期から大人まで、生の音に触れられる機会をつくる。
- 地元の吹奏楽部や有名アーティストとコラボする。
- オルガンコンクールやバロック音楽フェスティバルを開催する。
- 美術館等の観光ツアーにパイプオルガンのコンサートを含む旅行パックを企画する。
- 市民参加型のコンサートを開催する。
- 図書館の読書会にオルガンの演奏を添え、より本の世界観を深めるとりくみを行う。
- 撮影で貸し出す機会を増やす。
- 地元テレビ局やラジオ局と連携して、オルガン演奏を配信する番組を作成する。

② 「パイプオルガンを撤去して新たなホールの活用策を検討した方が良い」

➤ 選択理由

- 年間の利用頻度が少なく、パイプオルガンにこだわらなくて良いと思う。

(4) その他の意見

- 寄付やクラウドファンディングを活用して資金をあつめる。
- SNS などの宣伝を強化して集客に努めた方が良い。
- 演奏の場を提供するなど、学校や市民の音楽活動を支援する。
- 海外から演奏家を招聘し、国際交流をすすめてほしい。
- パイプオルガンの利用料金を安くしたり、1時間あたりの利用料金を設定したりして、使いやすくしてほしい。